

SEMINAR



# 地域と学校のつながりで育む こどもの学び

廿日市市立宮内小学校区地域学校協働本部



## 寺本 光 児 Kouji Teramoto



宮内小学校 学校運営協議会委員  
宮内小学校区 地域学校協働本部 地域コーディネーター



何にもしない合宿(宮内地区) 実行委員長  
地域内の人と人が出会う日常の合宿



廿日市警察署管内少年補導協助員



宮内地区コミュニティづくり協議会 広報部長



みやうち冒険あそび場の会 代表  
こどもの自由なあそび場づくり/自然体験活動



青少年夢プラン実行委員会 会長  
青少年の健全育成/こどもの居場所づくり



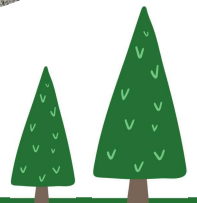
廿日市市教育委員会 社会教育委員



自然体験活動上級指導者(NEALインストラクター)

ほか

- プレーワーカー
- フォトグラファー
- 社会教育士
- 放課後児童支援員



# 廿日市市宮内地区

- 宮内地区の人口 約9700人。(廿日市市全体 約11.5万人)
- 廿日市市の沿岸部にあり、JR・広電・バスの便が良い。
- スーパー等の商業施設が多く、暮らしの利便性が高い。
- 新しい住宅が増えており、若い世代の転入が多い。
- 広島市のベッドタウンで、広島市への通勤通学が多い。
- 地域自治組織である宮内地区コミュニティづくり協議会や町内会の力は低下しており、活動は縮小傾向にある。
- 市民活動団体や子供を支援する活動者は早くからあり、継続的に活動している。



# 宮内小学校

学校教育目標

自ら考え学び合い 心豊かにたくましく生きる児童の育成

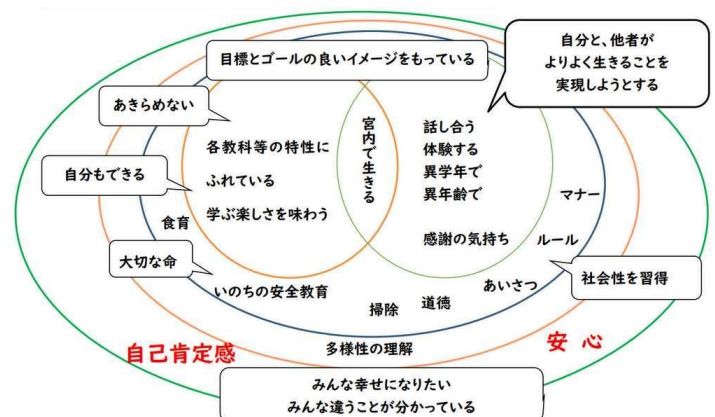


各学年3クラス 児童数527人 (5/1時点)

<めざす児童像>

- 自ら学び伸び合う子 (向上心)
- よさを伸ばし合う子 (協調性)
- ねばり強く努力する子 (忍耐力)

向上心 協調性 忍耐力をもった 主体的な学び手



# 学校運営協議会・地域学校協働本部

## 学校運営協議会

設置年度：令和5年  
 開催回数：4回/年（臨時会有）  
 委員人数：7名  
 学校代表：2名（校長・教頭）

### 委員構成

- ・宮内コミュニティ会長
- ・少年補導協助手員/社会教育委員
- ・PTA会長
- ・市民センター長
- ・児童民生委員
- ・特別支援学校校長
- ・保育園園長

連携・  
一体的推進

共通する  
委員

特色ある  
委員

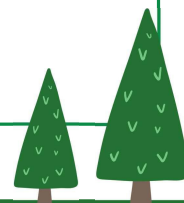
## 地域学校協働本部

設置年度：平成27年（学校支援地域本部）  
 開催回数：総会1回/年、活動調整会議11回/年  
 委員人数：11名  
 地域コーディネーター数：7名

### 委員構成

- ・宮内コミュニティ会長(地コ)
- ・少年補導協助手員/社会教育委員(地コ)
- ・PTA会長
- ・市民センター長
- ・児童民生委員協議会会長(地コ)
- ・読み聞かせボランティア代表(地コ)
- ・宮内コミュニティ役員3名(地コ)
- ・学校代表（校長・教頭）

ボランティア登録数：50名



## 学校運営協議会



### 議題

総合的な学習の時間（ふるさと学習）の単元づくり

熟議で地域資源を共有

地域とともにつくる運動会の種目

プログラムや種目について小部会で協議

どんな宮内っ子に育ってほしいか

地域と先生で学校・地域のねがいを熟議

## 地域学校協働本部



### 議題

総合的な学習の時間（ふるさと学習）の単元づくり

授業の内容ごとの具体的な連携

地域とともにつくる運動会の種目

宮内音頭の指導についての具体的な連携

地域とのつながり・交流

授業支援活動等

異年齢交流・家庭外の人と関わる

何にもしない合宿

# ふるさと学習（まち探検）

協調性 主体性  
宮内の良さを知って自分で関わる

熟議で総合的な学習の時間に取り上げる地域資源を地域の様々な方から情報共有

その情報をもとに、3年生の総合的な学習の時間や2年生の生活科のまち探検の訪問先に設定

2年生生活科での訪問先  
宮内天王社（神社）・お寺  
集会所・交番・郵便局・銀行  
スーパー・精肉店・ケーキ屋  
市民センター（公民館）

3年生総合的な学習の時間のテーマ  
宮内天王社・馬観音・専念寺  
宮内の祭り・御手洗川の桜並木  
御手洗川の自然・商業施設



宮内天王社では、地域学校協働活動推進員が神社総代の方から聞いた話を2年生向けにかみ砕いて紹介



# 学校と地域でとものつくる運動会

向上心 協調性  
忍耐力 主体性

## 学校

運動会の練習（特に表現）の授業時間の確保が難しい

ふるさと学習の役割を担う可能性  
地域・学校・こどもの距離を縮める  
全員が楽しいと感じられる設計

## 課題

地域運動会や盆踊りがなくなるなど、みんなが遠慮なく集まれる場の減少

## 目的

地域運動会の記憶を継承  
宮内音頭を踊れる文化へ  
地域との協働は防災・防犯にも好影響

子供・保護者・教職員・地域住民が共創するコミュニティイベントへ再定義し、学校・地域双方にとって価値あるものにする

- 学校行事として学校が主催することで、授業時間に練習でき、原則児童全員が参加できる
- 地域学校協働本部の活動調整会議で地域団体・保護者団体との調整を行う
- PTA会長が地域学校協働本部の保護者代表として連携の中心に
- 学校行事委員会を中心に考えた「体ほぐし体操」（準備運動）
- いくつかの種目に保護者チームや先生チームが出場
- 保護者が運動会当日の運営（準備・係・撤収）に参画
- 地域の大人が宮内音頭を指導し、全校児童で踊る



# 地域学校協働活動

- ふるさと学習
  - 総合的な学習の時間のゲストティーチャー
  - 和太鼓クラブ
  - 宮内音頭
  - まち探検の安全見守り
- 授業支援活動
  - 毛筆、ミシン、カッターナイフ
  - アサガオやトマトの植え付け ほか
- 登下校の見守り活動
- 読み聞かせ活動
- 何にもしない合宿



現在、ボランティアに登録していただいている方は、41名です。できるときにできる人ができることを！皆で子ども達を見守りましょう。

5月に入り、毛筆にアサガオ植え・ミニトマトの苗植え等、色々な支援が始まりました。6月には、まち探検の見守り支援があります。宮内っ子と一緒に地域を回ってみませんか？



3年生の毛筆では、初めての半紙に「一」という文字を始筆と終筆をしっかりと意識され上手に書かれていました。ミニトマトの収穫も楽しみですね。



5月19日(月)14時から宮内小学校多目的ルームで、地域学校協働会(宮内っ子応援隊)が開催されました。

あいさつ・自己紹介から始まり、令和6年度事業報告・令和7年度の規約・体制図の説明、続いて令和7年度の役員選任・事業計画の説明があり、承認されました。生涯学習課より「地域学校協働活動の心得」についても説明を受け、子どもたちへの渡し方について、改めて確認しました。

宮内っ子応援隊便り「すまいる」は、支援の様子や連絡事項を記載し、毎月20日に支援予定表と一緒に「通い封筒」に入れて、宮内市民センターの「宮内っ子応援隊」のボックスに入れますので、ご確認をお願いします。

地域学校協働本部が「宮内っ子応援隊便り」を発行  
学校HP・宮内コミュニティHP・宮内市民センター掲示・  
学校支援ボランティアに配布・生涯学習課報告

# 宮内小学校での 何にもしない合宿

- 裾野市から学び、2024年6月にスタート。
- 宮内小学校の**体育館**と多目的教室で開催。
- 地域学校協働本部が主催することで、  
**地域と学校が共につくる活動**という位置づけ。
- 体育館の**広さ**があるからこそその、遊びの発散。
- 普段の暮らしの場という**安心感**と**暗黙知**。
- 普段の場所で普段と違うことへの期待と興奮。

**10月**

**17** 18:30

**18** 7:30

会場：宮内小学校体育館・多目的教室 など

参加費：100円

対象：1～6年生・保護者・地域のおとな  
(1,2年生は慣れるまで保護者が一緒にいてください)

定員：70名程度(定員を超えた場合は抽選)

申込締切：10/10(金)

抽選結果：10/14(火)までにメールでお知らせします  
お申込み後すぐに自動返信メールが送信されますのでご確認ください。  
自動返信がない場合は申し込めていない場合があります。

なん 第16回

## 何にもしない合宿

あそんでねてあそんでかえるだけ!

**何にもしない合宿とは?**

夕食や入浴を済ませ、寝袋だけ持って集まります。大人が特別なことを頼みません。ただ寝る、自由に遊ぶ、ゆるやかにつながる場です。ルールは「ケンカをしない」「ケガをしない」21時になったら寝る努力をしようです。

みんなで一緒に遊んで泊りましょう!

もっていかないもの  
寝具(寝袋など)・お水(ペットボトル)・タオル・水筒・箸がえ

もっていった方がいいもの  
寝具(寝袋など)・お水(ペットボトル)・タオル・水筒・箸がえ

もっていかないもの  
寝具(寝袋など)・お水(ペットボトル)・タオル・水筒・箸がえ

お申し込みはこちら

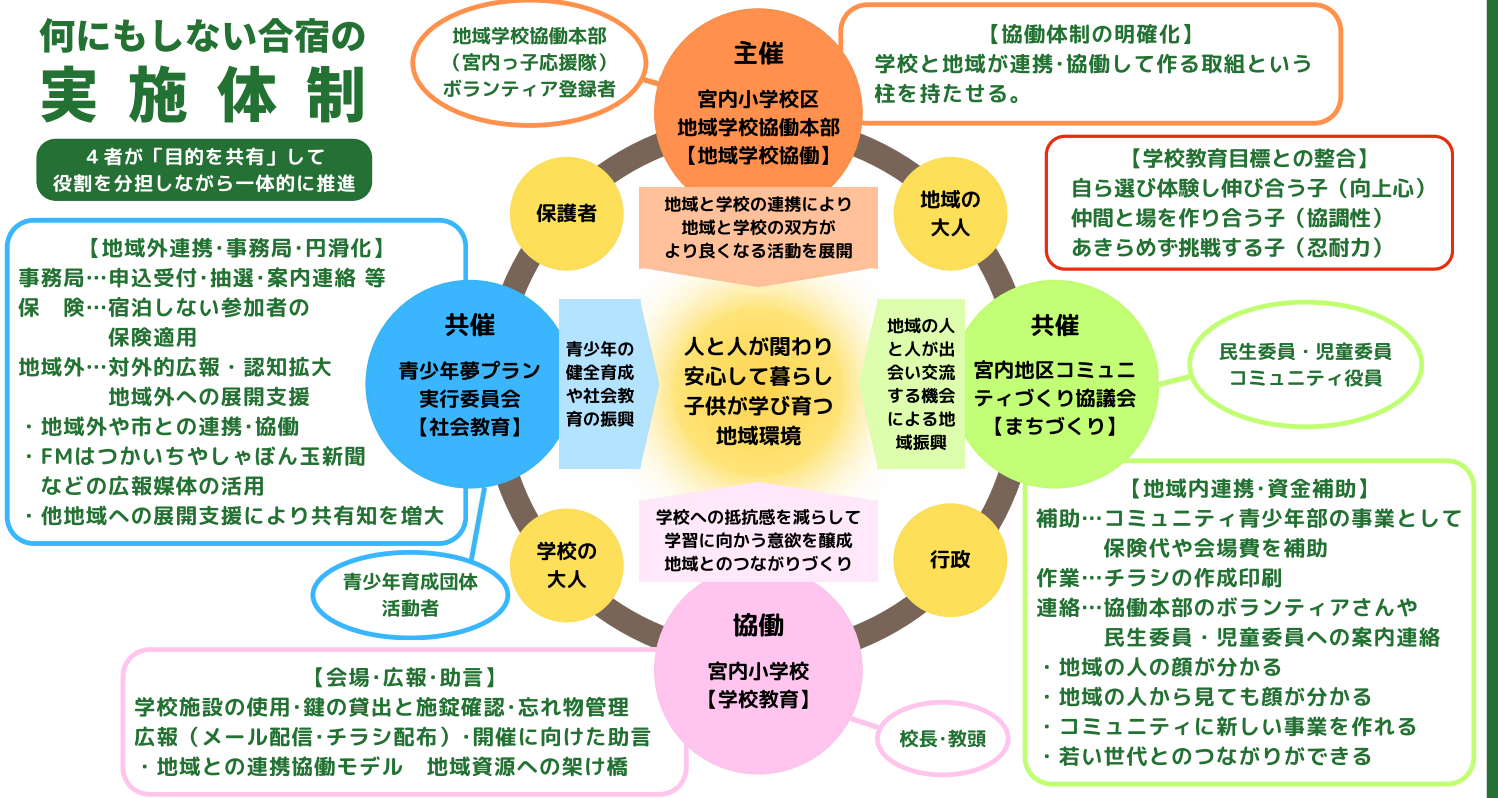
<https://forms.gle/2G59kaYaag1M4E7>

主催 宮内小学校区地域学校協働本部  
共催 宮内コミュニティ協議会・青少年プラザ実行委員会  
協力 宮内小PTA

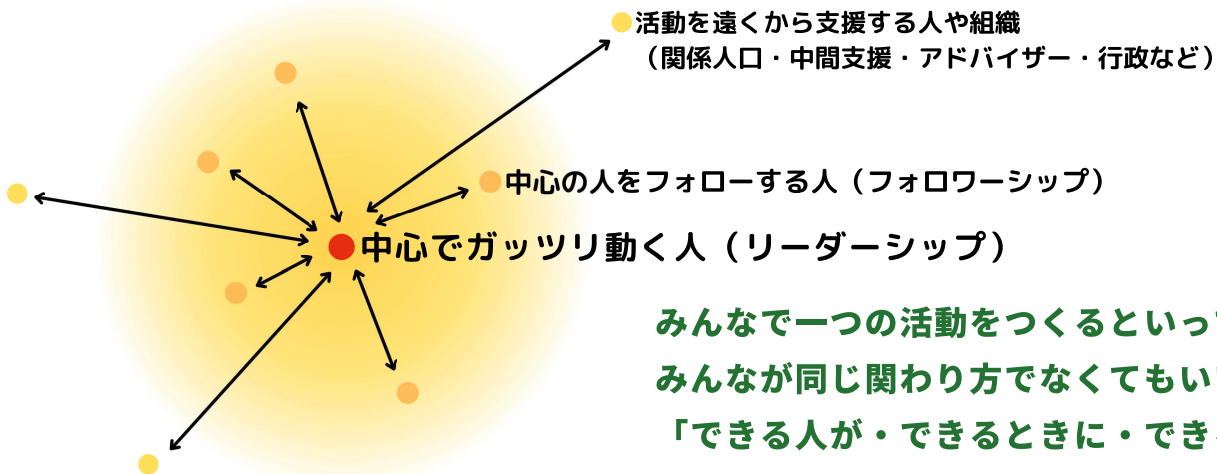
お問い合わせ  
namimoshinai.gasshuku.miyachi@gmail.com

# 何にもしない合宿の実施体制

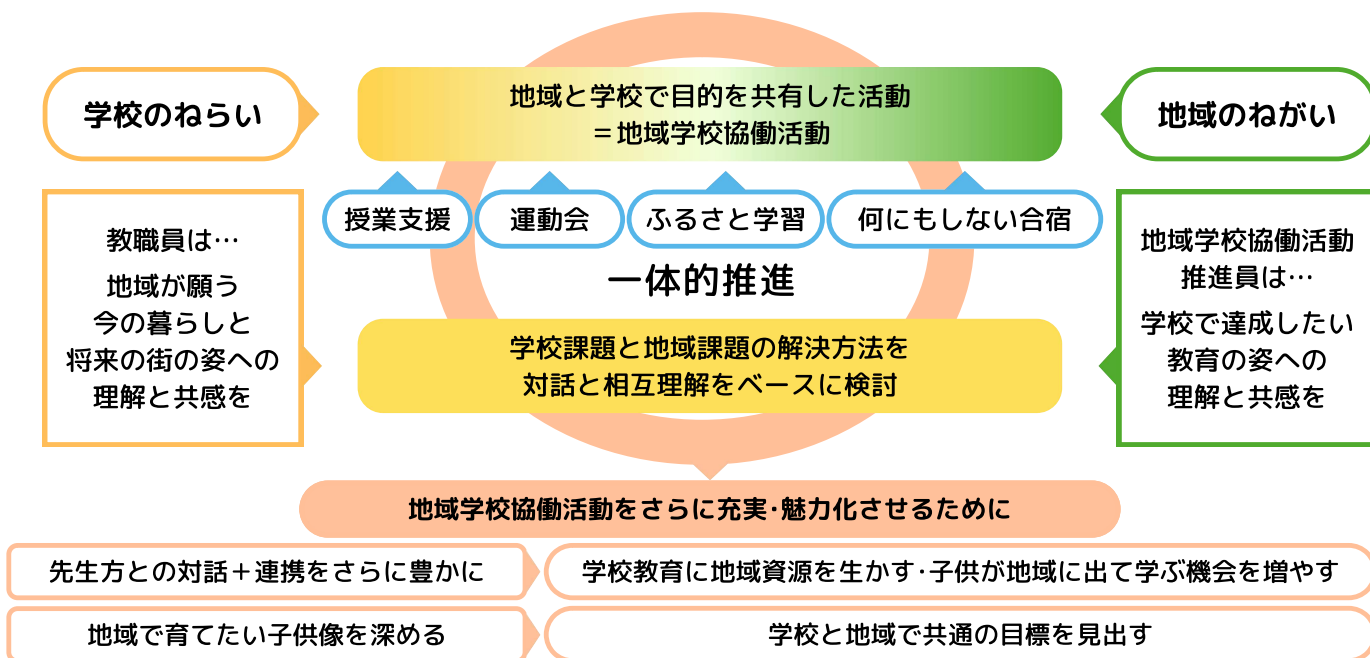
4者が「目的を共有」して役割を分担しながら一体的に推進



# 協働の関わり方はグラデーション



# 学校のねらいと地域のねがいの融合



## 地域と学校のつながりで育むこどもの学び

### よかったこと

- 地域と学校で協働した取組により、  
育てたい資質・能力が育まれている。

### これから取り組むこと

- 地域の人と学校の先生との**対話の機会**を増やす
- 学校運営協議会の熟議を通して、  
学校と地域で**育てたい子供像**を共有する。

**THANK YOU!**

ありがとうございました